

【2月の保育】



年少うさぎ組

手回しコマや凧あげなどの正月遊びでは、「ぼくも！わたしも！」とたくさんの幼児が興味をもち、他の幼児と関わって遊ぶ機会となりました。

今月は、他の幼児と同じ場所で過ごしたり遊んだりする中で「おもしろい！」「困った」など様々な感情を味わいながら、相手の思いを知ったりその幼児なりに納得したりできるように支えています。

学級全体では、節分や獅子舞などの季節行事に触れて、幼児なりに遊びに取り入れたり、年中児の音楽会に刺激を受けて楽器遊びを楽しんだりしていきます。またうさぎ組最後の元気タイムがあります。えいたコーチに教えていただく運動を、遊びの中でどんどん取り入れて、寒くても園庭で元気いっぱい遊びます。

年長ぞう組

いろいろな場面で自信をもって取り組む姿が見られるようになってきました。投げゴマや竹馬に挑戦中です。はじめは、なかなか一步が踏み出せない子、うまくいかないとすぐに違う遊びをする子もいました。繰り返し取り組む中で、友達の挑戦する姿に刺激を受けて、自分もやってみようとし、できるようになるまで諦めない気持ちが育っています。少し難しいことにも粘り強く挑戦する姿を大切に、一人ひとりの達成感につながるように支えています。

今月は、音楽会や学級全体で取り組む活動、ひな祭りに向けたひな人形作りなどを楽しみながら、自分のやりたい遊びを存分に楽しんでいくことができるよう、見通しをもった生活を進めていきます。カレンダーや1日の予定表などを活用し、幼児同士で声を掛け合いながら生活できるようにします。

年中くま組

園庭では、短縄や大縄など個々に繰り返し挑戦したり、友達や教師と一緒に中当てや鬼ごっこをしたりして体を動かすことを楽しんでいます。

学級のみんなで歌ったり楽器を鳴らしたりして、声や音が揃う心地よさやみんなでする楽しい雰囲気を楽しんでいます。学級の友達と一緒に過ごす楽しさが感じられるような遊びを取り入れていきます。

お休み調べや誕生会の司会など、今まではぞう組がしていたことを教えてもらいながら取り組んでいます。“不安だったけど、やってみたらできた”という経験を丁寧に積み重ね、自信や進級への期待につなげていきます。

